



# 西幼だよい

羽島市立西部幼稚園  
令和8年2月2日 No.18  
園長 安藤 賢治



## 怒る…と叱る…で考えたい～子育ての現実～

■「人生で思い通りにならないこと」の一つに、『子育て(子どもの成長、未来)』があります。

わかっていることとはいえ、愛情をかけて育てているのですから、  
なんとか、『親の思いが伝わってほしい』と願わずにはいられない  
のが、正直なところではないでしょうか。



調子の良いときは、笑顔、笑顔、また、笑顔！ですが、その逆もあります。

「ひい加減にひなさい！」「どうして、またそんなことをするの？」「何回言えれば、わかるの！」  
「いったい、いつになつたら…、全く、この子は!!」「何が、不満なの？」  
「なんで、わかつてくれないの？」…等々、例をあげたらきりがありません。



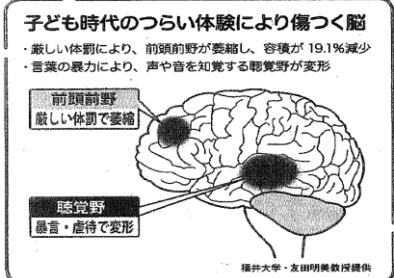
＜思い通りに行動してくれない＞…そんな時、ついつい…

►（大声で）怒鳴ってしまったり、思わず手が出て（叩いて）しまったり。  
怒り心頭！…その後で、「後悔する」のではないでしょうか。

\*一方的に怒りをぶつけることは、子どもの考える力を奪うことになる。

体罰や暴言は、子どもの脳の発達に深刻な影響を及ぼす（右図）

- ・脳の前頭前野の容積が委縮する
  - ・脳の聴覚野が変形
- 感情を司る部位
- 声や音を知覚する部位
- ▶うまく機能しなくなると、話し相手の感情を読み取ることができなくなる心配。  
・親からの体罰は、親子関係がうまくいかなくなる、精神的な問題を抱える、  
反社会的な行動を起こす、攻撃性が強くなるなど、成人後にまで影響あり。



しかし、＜子どものしつけには、体罰が必要＞と考える親が、4割もいる。（2021セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン）

\*子どもは、学習します。…この人は、怒鳴る人。怖い人。だから、おとなしくしていよう、今は…と。  
怖い人の“正解”に合わせただけで、「今は静かにするべきだ」と判断したわけではないのです。  
つまり、子どもの考える力を奪ってしまっていることになるのです。ちゃんとやっているなあと思い、  
気づきにくいですが、実は、子どもの行動にある心理は、この通りではないでしょうか。

\*『今すぐ、思い直して、＜体罰をやめる、しない＞の決意を！』…脳は、回復します！

ただし、どうしても叱らなければならない場合（…「怒る」と違う）

→ 人を傷つけたり、危険な行動をしたりしそうな時など

►＜近づいて、短く、きっぱりと＞ 目を見て、真剣に 思いを伝える。



\*子どもは、気持ちを言葉にすることが苦手（成長の途中）です。そんな時こそ、大人の出番！

思い出すのが、「せんせい、あのね」…聞き上手ですね…

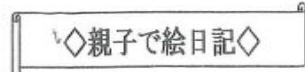
大人一人一人に問い合わせられます。子どもにとって、声を届け  
たいと思える人か、聞いてほしいと安心できる存在かどうか。

違う考えの人とも、一緒に生きていくのが この世の中です。

感情を言語化して、折り合いをつけながら…『皆、居心地よく』やっていきたいものです。



家庭教育学級だより

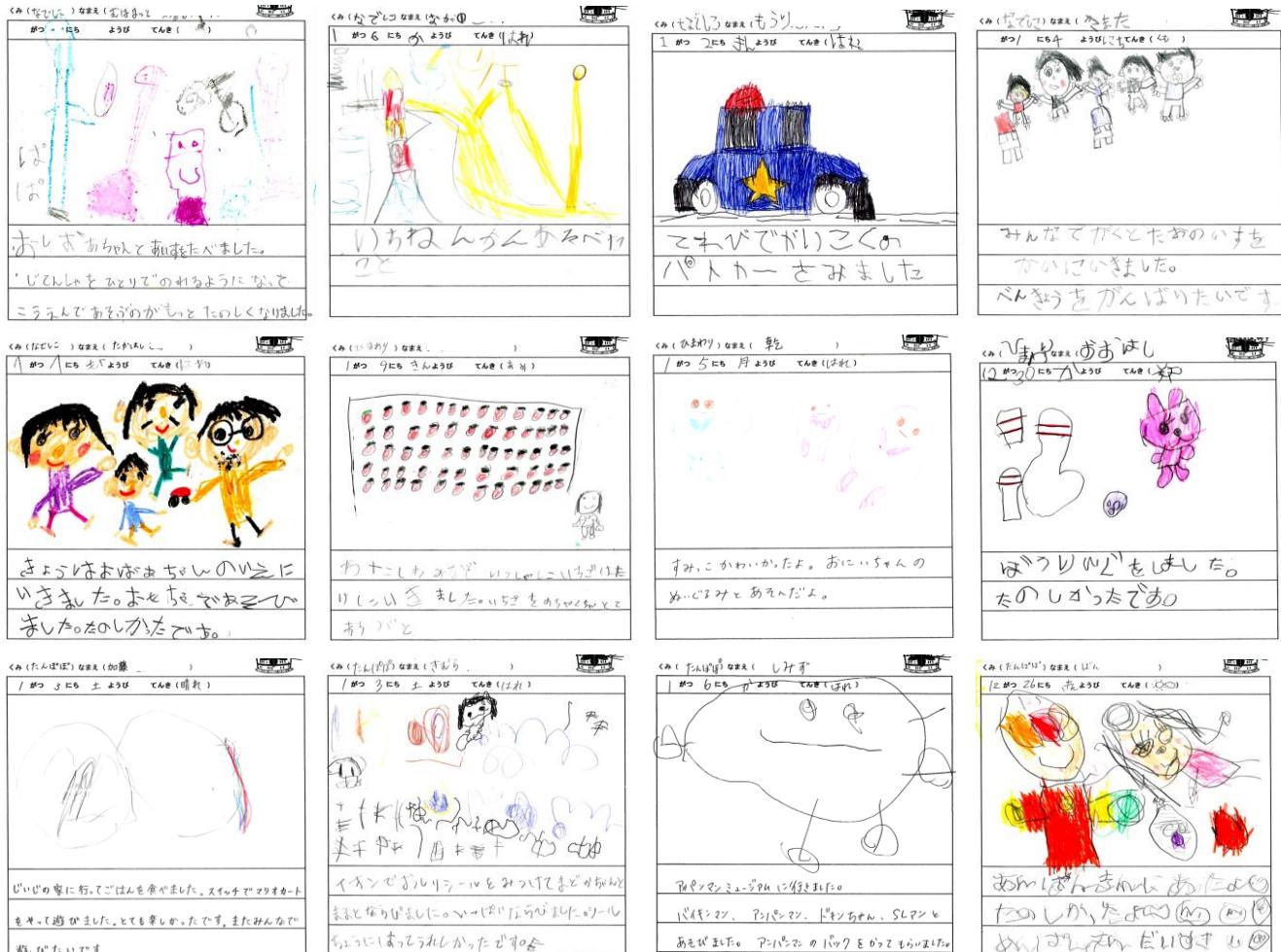


⑦ 冬休み号

► 素敵な“親子”の時間になったようです。  
子どもの声や、親の感想に触れると、  
“本当に温かいまなざし”で、我が子を  
包み込んでいらっしゃることが伝わって  
きました。

絵日記は、書く際に記憶を呼び起こすことで頭の中が整理され、記憶力の向上が期待できるとされています。

冬休みの生活の中で、楽しかった出来事を絵日記に書いてみましょう。子供が話してくれたことを親が書いてもOK! 絵には色をぬりましょう♪



子どもが絵をかいて親が文章を書いて一緒に一つのことをやることができた、とてもよかったです。

\*親の感想

絵にすることで、楽しかったことをまた思い出して再確認できました。楽しいことがさらに楽しいと確認でき、毎日充実できると思います。

毎晩、寝る前にその日にあった出来事や感想をおしゃべりして、その中で日記に書くことを決めて楽しくできました。なかなか書いてくれなかったけど、一緒に会話しながら取り組めて良かったです。

話をしながら、こんなことをしたよね、とかを思い出すときは、とても楽しくて本人も絵日記をすることを楽しんでいました。時々、絵日記を書いたらしくてみようと思いました。

子供目線は、キラキラとしていて、お話をしながら書いているところを見ることがでて、大切な時間になりました。お父さんとの時間も楽しそうな姿がたくさん見られて嬉しかったです。

妹と同じように、写真で冬休みの思い出を振り返りながら書く内容を決めました。兄妹で同じ時間を過ごしているけれど、それぞれ一番思い出に残っていることが違っておもしろかったです！ひらがなを自分で書いてみるきっかけにもなりました。

冬休みの残り3日!!のタイミングで書きました！写真を見ながら「この日は公園に行ったねー！」「じいじやばあばみんなに会えたねー！」など、思い出を振り返りながらおしゃべりする時間にもなりました。「どの思い出にしようかなあ～？」なんて相談しながら書けるようになったわが子の成長を感じました。

\* 素敵な取組となったんですね。  
以前の取組の“ハグ”が、その時あつたりしましたでしょうか。  
～家族仲良く、笑顔が一番！～